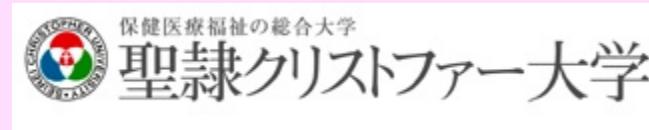


鬪病記などのナラティブ教材の種類と 意義：メディアの違いに着目して

小平朋江



tomoe-k@seirei.ac.jp

いとうたけひこ 和光大学

take@wako.ac.jp



日本精神保健看護学会第20回総会・学術集会

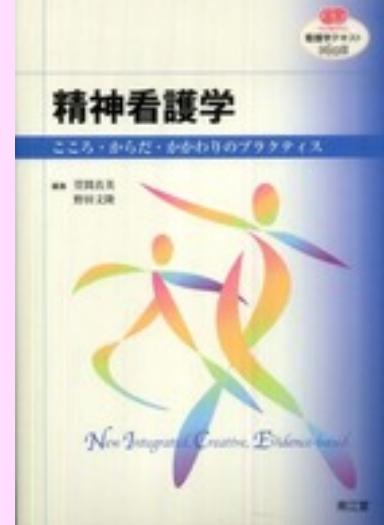
聖路加看護大学

2010年6月19日-20日

口頭発表資料(10020)

【はじめに】

- ・萱間(2010)は、精神看護では文学や芸術に触れることが重要であると指摘した。
- ・我々は、精神障害についてのTV番組を偏見低減教育に活用する試みの中で病気の説明中心の番組よりも当事者の語りの番組の効果が大きい事が分かり、ナラティブ教材の有効性を明らかにしてきた。
- ・精神看護学の授業で精神障害者の闘病記を朗読すると、学生たちからポジティブな感想が得られる。
- ・本研究では闘病記を代表とする語りを中心とした「ナラティブ教材」の精神看護学にもたらす有効性を検討する。



科学とナラティブ：「寛解」とは

「寛解」→国立国語研究所の市民アンケート：患者が分かりづらい医師の言葉100語の中のひとつ（朝日新聞朝刊2008年7月8日）



○精神医学事典(弘文堂)(論理科学的様式)

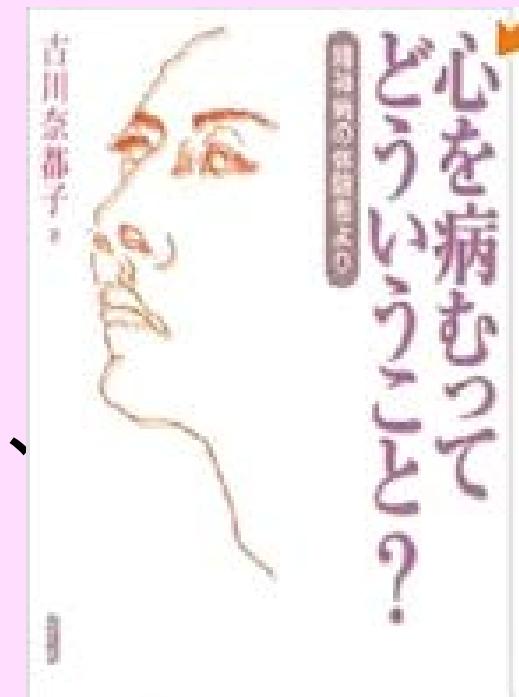
「陽性症状が消失し、安定した病像が見られれば『寛解』という」

○古川奈都子(2001)(物語り様式)「精神病には、完全に治った状態ではなく、発病前のようにもどるのではなく、発病前とは全く違う

別の状態で、なんとか社会生活が営める状態になることを『寛解』という言葉で言う。

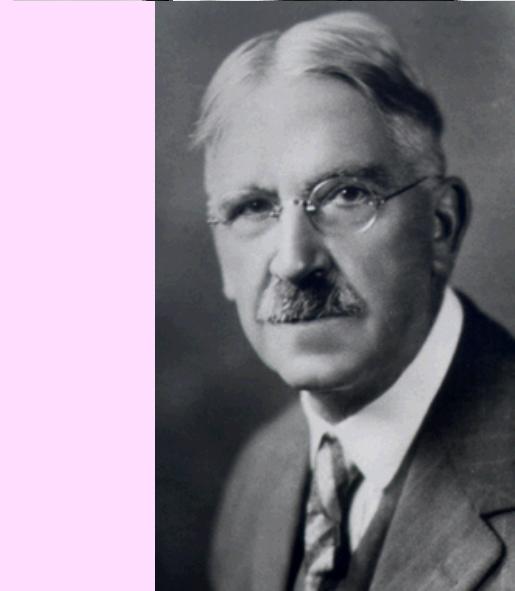
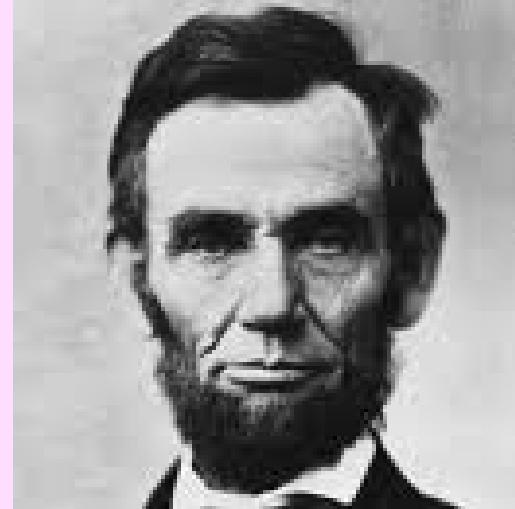
『寛解』したとは、自分自身が大きく成長した、飛躍したということです」

古川は、この難解な「寛解」という用語が病いの体験を踏まえ鮮やかに述べる



ナラティブ教材とは

- リンカーン1863『ゲティスバーグ演説』「人民の、人民による、人民のための政府」
- J. デューイ(1938)『経験と教育』講談社学術文庫 市村尚久訳2004
p39「経験の、経験による、経験のための教育」
- いとう(2010) ナラティブ教材とは
「他者の経験の、自分の視聴経験による、自分の経験のための教材」



【目的】

- 精神障害者についての闘病記としてのナラティブ教材を収集して、どのような種類のメディアが用いられているかに着目して分類する。
- それらの、ナラティブ教材としての教育的活用の可能性を分析する。さらに、看護学知識創造の観点から、「看護の知」においてどのように位置づくかを明らかにする。



体験者、医療者からのメッセージ
JPOP-VOICE

このサイトをご覧になる方へ JPOPとは 検索 お問合せ
◎ サイト内検索 検索 Google

統合失調症と向き合う
体験者、医療者、支援者の声を
動画でご紹介します。

新着情報

VOICE
2010年1月28日 「統合失調症(体験者:梗田伸也さん)の声」を掲載しました。NEWS

FACE
2010年1月12日 2月7日(日)、講演会「最近の英国精神科医療・保健・福祉改革から学ぶこと」が東京で開催されます(当事者・ご家族も参加できます)。NEWS

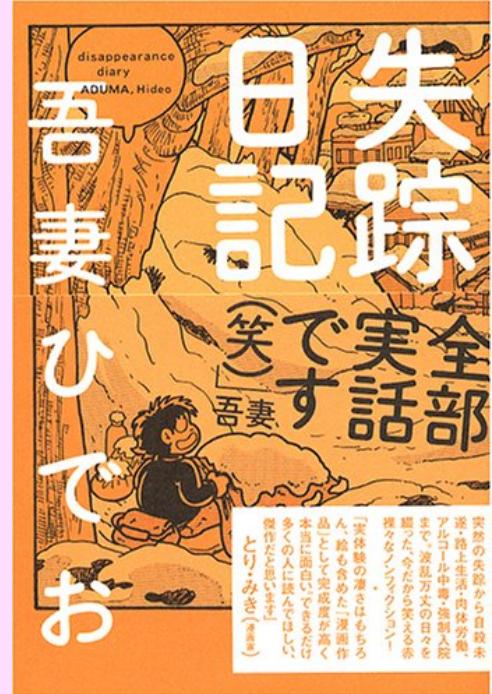
「JPOP-VOICE 統合失調症と向き合う」アンケートにご協力のお願い CLICK!
このサイトへのご意見、ご感想をお寄せ下さい。(第1回読めました月)

運営協力:大日本住友製薬株式会社

【研究方法】①

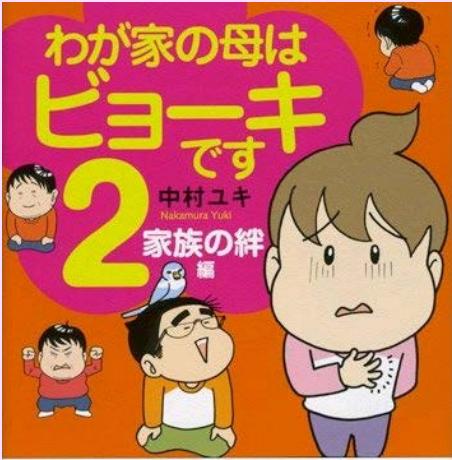
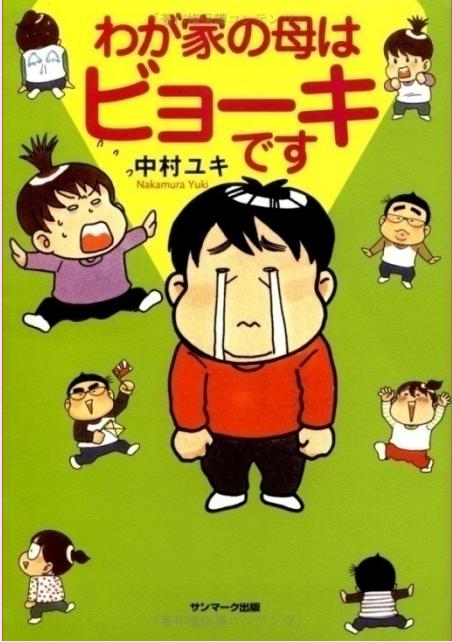
- 研究対象: 小平・伊藤(2008)を踏まえ、日本語で表現されている様々なメディアによる精神障害に関する語りがのべられている各種媒体によるナラティブ。
- 用語の定義: ナラティブ教材とは「患者の病いの体験を患者や家族などが自ら自分のことばで語った物語りが表現された作品であり、学習者にとってその体験の理解を促進したり、助けになる目的で看護教育などに利用されうる形に教材化されたもの。」と定義する。

2015/7/3



【研究方法】②

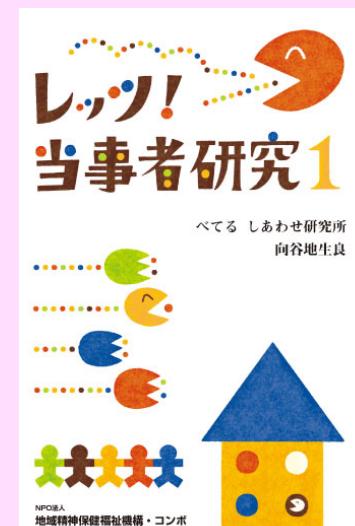
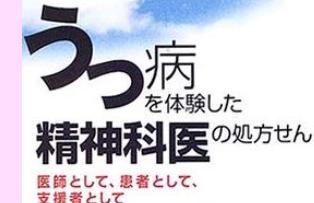
- その例として、鬪病記(手記)、コミックエッセイ、録画されたTV番組、JPOP-VOICEなどのウェブサイトなど、当事者のナラティブ(語り)などがある。
- 分析方法: ①教材可能性、②発表時期、③入手可能性の観点から各種ナラティブを収集・整理した。今回の分析ではメディアの種類とその特徴に着目した。



【結果】①印刷媒体

- ・ メディアの種類という観点から、ナラティブ教材になる可能性のあるものとして、以下の7種類に分類が可能であることが明らかになった。
- ・ (1) 文章で書いてある手記としての鬪病記。例として、古川奈都子「心を病むってどういうこと」、松本昭夫「精神病棟の20年」、蟻塚亮二「うつ病を体験した精神科医の処方せん」、べてるしあわせ研究所「レッツ！当事者研究1」など。

2015/7/3



【結果】②印刷媒体(続き)

- (2)マンガ、コミックエッセイ。
例として細川貂々「ツレがうつになりました。」、中村ユキ「わが家の母はビヨーキです」、大原由軌子「大原さんちのダンナさん:このごろ少し神経症」、吾妻ひでお「失踪日記」、すずきゆうこ「べてるの家はいつもぱぴふぺほVOL.1」など。
- (3)当事者の声をとりいれた定期刊行物。例として「メンタルヘルスマガジン こころの元気プラス」など。

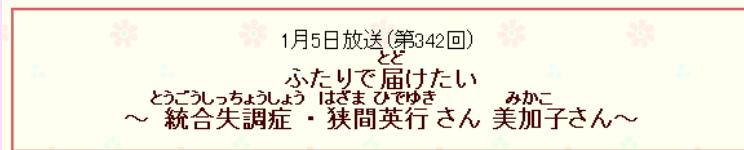
2015/7/3



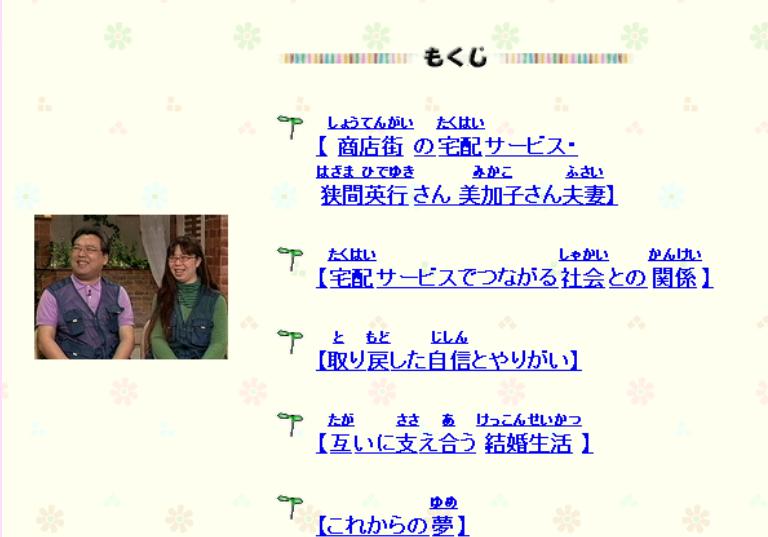
【結果】③AV, ネットワーク

(4)当事者が素顔で登場し映像と肉声で語りが聞けるテレビ番組の録画。例として、NHK『きらっといきる』「ふたりで届けたい～統合失調症・狭間英行さん 美加子さん～」、NHK『生活ほっとモーニング』「問題あっても大丈夫～統合失調症と生きる～」など。

(5)出版社や当事者団体やNGOなどにより作成され販売されているビデオ・DVD。例として、NPOコンボによるDVD、浦河べてるの家制作「べてるの家の映像文庫Vol.1 ようこそべてるへ」(DVD)など。



こんかい はさま ひでゆき みかこ しおかい
今回は“きらっといきている” 狹間英行さん 美加子さんをご紹介します。



【結果】④AV、ネットワーク(続き)

- ・(6)精神障害者が出演するドキュメンタリー映画。例として想田和弘監督(2008)「精神」、ニコラ・フィリベル監督(1996)「すべての些細な事柄」など。
- ・(7)インターネットで見ることができる精神障害者に関するブログ、ウェブサイト。例として、浦河べてるの家「当事者研究の部屋」や、動画があることで当事者の素顔も見られ肉声により語りが聞け、テキストにより病いの体験が文字で読めることが同時に出来るものとしては「JPOP-VOICE～統合失調症と向き合う～」がある。

2015/7/3



【考察】①

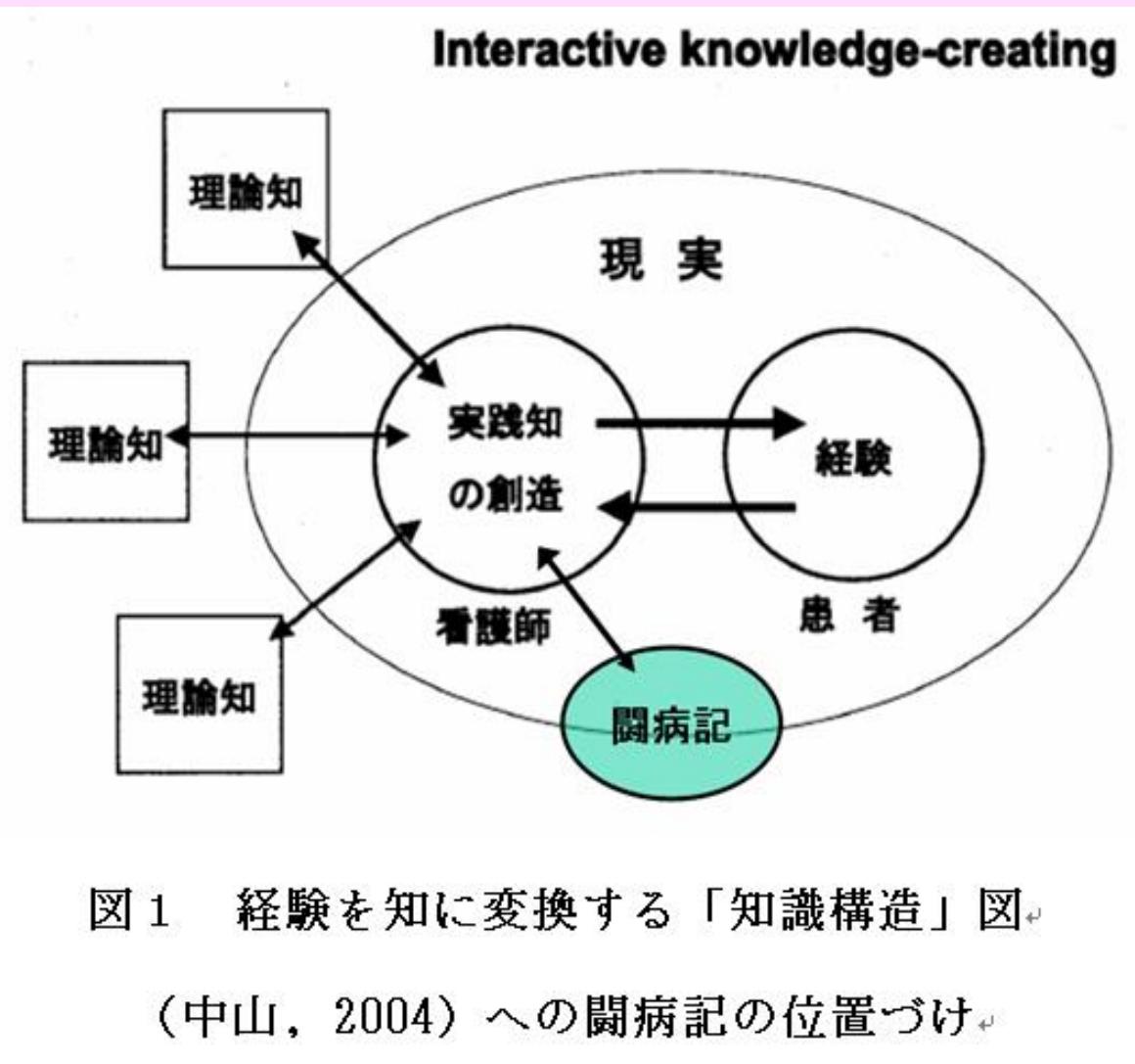
- (1)(2)(3)は印刷媒体で、書籍として出版されていて書店などで入手可能である。精神看護学の授業では朗読、課題として読ませる、印刷教材の中に入れるなどの方法がある。
- (4)(5)は、授業でその全部または一部を視聴させ、視聴前後の変化を見ることができる。
- (6)には、俳優が演じているが実話に基づいている統合失調症の数学者を描いた「ビューティフル・マインド」などを入れることもできよう。ナラティブ教材としては長時間であるのが難点である。
- (7)は印刷して教材化する他に、直接提示・上映する、あるいは宿題としてウェブサイトを視聴する方法がある。

【考察】②

- ・ 偏見低減のEASESモデル(Kodaira & Ito, 2009)と照合して多くのナラティブ教材では、偏見低減に優れた特徴がある
- ・ ●Effective: 効果的、●Amusing: 面白く興味深い内容
●Safe/Non-expensive/Sustainable 安全・安心して用いられ高価でなく持続可能、●Easy access: 入手が困難でない、
●Short: 短時間での活用が可能
- ・ 当事者を教室に招いたり模擬患者を導入したりするよりも、特に「知識」と「気づき・態度」の領域ではナラティブ教材のメリットが大きい。
- ・ 臨床現場の看護師の経験を知に変換する知識創造の中山(2004)のモデルでは、臨床知と理論知に加え闘病記などのナラティブ教材は知の第3の源泉になる(図1 →)。

中山洋子 2004 看護の“知”的水脈を探る 聖路加看護学会誌, 8(1), 44-49.

- 臨床現場の看護師の経験を知に変換する知識創造の中山(2004)のモデルに於いて、臨床知と理論知に加え闇病記などのナラティブ教材は知の第3の源泉になる



- 【文献】 Dewey, J. (1938) *Experience and education*. Macmillan
市村尚久訳(2004) 経験と教育 講談社学術文庫
- 萱間真美 2010 ケア対象者はどんな体験をしているのか 萱間
真美・野田文隆(編) *精神看護学:こころ・からだ・かかわりのプ
ラクティス* 南江堂 Pp. 2-5.
- 小平朋江・伊藤武彦2008精神障害の鬪病記:多様な物語りの意
義 マクロ・カウンセリング研究, 7, 48-63.
- Kodaira, T., & Ito, T. 2009 Video-based preventive education for
reduction of the prejudice towards schizophrenia. *The 1st
International Nursing Research Conference of World Academy of
Nursing Science, Kobe: Program & Abstracts*, 163.
- Lincoln, A 1863 The Gettysburg address.
<http://www.geocities.jp/sybrma/234lincoln.address.html>
(2010/04/26取得)
- 中山洋子 2004 看護の“知”の水脈を探る 聖路加看護学会誌,
8(1), 44-49.